

横浜市立みなと赤十字病院における薬剤の紛失について

令和3年11月1日（月）に当院の薬剤部調剤室で保管する第3種向精神薬の紛失が判明しました。薬剤部で勤務する関係職員への確認や院内の捜索を行いました。薬剤の発見には至らなかったことから、11月10日（水）に警察署に相談し、11月11日（木）に被害届を提出いたしました。

患者様や関係各位の皆様には、多大なるご心配とご不安をおかけし、心よりお詫び申し上げます。今後このような事態を起さないよう、職員一丸となり、より一層の安全管理に努めてまいります。

記

1 紛失した薬剤

第3種向精神薬ゾルピデム酒石酸塩錠剤10mg「明治」100錠入り3箱

※本薬剤は、睡眠障害などを改善する飲み薬です。

2 これまでの経緯

- (1) 11月1日（月）9時00分頃に薬剤部の担当者が第3種向精神薬の薬剤保管庫を確認した際、上記の薬剤が所在不明であることを確認しました。
- (2) その後、薬剤部調剤室内で紛失した薬剤の捜索を実施するとともに、薬剤部で勤務する関係職員への確認を行いました。
- (3) 院内の捜索で薬剤を発見できないため、11月10日（水）11時00頃に横浜市医療局病院経営本部にこれまでの経緯を報告するとともに、同日の夕方に神奈川県警に相談し、11月11日（木）に被害届を提出しました。

3 再発防止策

第3種向精神薬については、薬剤保管庫で施錠管理するだけでなく、管理方法をより厳重にして、再発防止に努めてまいります。

横浜市立みなと赤十字病院
院長 伊藤 宏